

一般質問

金光 英晴 議員

佐渡市将来ビジョンについて

【質問】 財政健全化の判断は一般会計だけでなく、全会計で示すべきだ。平成21年と31年度との財政見通しと借金残高の見込み数値を全会計で示すべきではないか。

【企画財政部長】 下水道事業会計や病院会計のように一般会計に影響を及ぼす特別会計もあるが今回は一般会計のみで将来ビジョンを示した。

【質問】 全会計における人件費と職員定数管理はどうなるか。

【市長】 年次ごとの具体的な人員削減計画を立て実行する。

【総務部長】 将来ビジョンの人員削減計画は、一般会計ベースで立てた。勸奨退職制度の推進と退職職員の原則不補充と新規採用の抑制、公営の福祉施設・保育

園・幼稚園等の民間移譲を進めて削減する。平成25年までは毎年60人程度、その後平成30年度までは毎年30人程度を削減して10年間で450人を削減。最終的には一般会計ベースで692人の職員体制にする。

【質問】 投資的経費と事業選択は、期間当初に事業優先度を明確にし、年次計画を立て、年度ごとに検証する手法を取るべきだ。

【市長】 事業実施は、合併特例債の充当が有利な事業や準備が整った事業から市民に手法等も明確に示して進めていく。

【質問】 成長力強化戦略は、耳障りの良い言葉だけが並んでいてこれまでの消化事業と同じく執行部の本気度が見えない。どのような事業を考えているのか。

【市長】 農林水産業の振興をベースにした、にぎわいの島づくりのために観光・商業等の産業間の連携を行う。また佐渡・羽田空港や佐渡汽船等の交通インフラの整備や安全安心の島づくりで経済の活性化へ繋げる戦略を立て実行する。

【市長】 成長力強化戦略事業は、各課から出された事業を精査して振り分け、新年度予算に反映させていく。

【企画財政部長】 成長力強化戦略事業は、各課から出された事業を精査して振り分け、新年度予算に反映させていく。



一般質問

廣瀬 擁 議員

健全財政は市税の収納率向上だ

【質問】 本市の歳入の半分を占める地方交付税は、合併特例期間を過ぎると段階的に減少し、平成31年度には一本算定により大幅減となる。

歳入・歳出の一体改革を実施しながら予算規模の縮小を図ることだが、財政健全化の時間軸と目標の中から、市税については特に自主財源だけに最も重要視しなければならない。徴収率の向上、滞納対策など今以上の徴収体制の整備が求められるが妙案は。

【市長】 景気低迷の影響で個人所得が減り、法人税や市民税が減ることが予測されるが、適切な課税と滞納対策の徹底で収納率の向上を図る。

【市民環境部長】 4月から債権収納対策課を設置し、各課の債権の大口やいくつも

の滞納を持つ約350件を引継ぎ取組んでいる。

【質問】 将来ビジョンでは平成31年度の税収は、自然体では45億円、あるべき姿では50億円と5億円の差があるがこの算出根拠は。

【市民環境部長】 毎年の人口減少率から計算すると15%減で45億円であるが、現在の収納率の89%台から95%に向上させ、成長力強化戦略の機能が発揮されれば50億円を可能とした。

【質問】 納税意欲もなく、納税誓約を守らない人への対応については。

【税務課長】 納税意欲のない滞納者又は納税誓約を何の事情説明もないまま履行しない滞納者については、早期に差押えをはじめとする滞納処分を実施している。

【質問】 公平性の原則からも口座振替だけでなく、時間

的にも納付しやすいコンビニ納付の検討は。取組んでいくよう検討する。



今後10年間の要歳入額と要削減額

(単位: 百万円、%)

要歳入額	平成31年度 (自然体)	平成31年度 (あるべき姿)	要歳入額	
			金額	増減率
市 税	4,500	5,000	500	11.1
地 方 交 税	14,555	14,555	0	0.0
分 担 金・ 負 担 金	300	400	100	33.3
使 用 料・ 手 数 料	700	750	50	7.1
財産収入	100	150	50	50.0

(単位: 百万円、%)

要削減額	平成21 年度	平成31年度 (あるべき姿)	要削減額	
			金額	増減率
人件費	8,397	5,400	▲2,997	▲36.0
物件費	6,137	4,550	▲1,587	▲25.9
補助費等	3,411	2,760	▲651	▲19.1
繰出金	4,134	3,500	▲634	▲15.3
普通建設 事業費	6,085	4,800	▲2,285	▲37.6
その他	12,636	9,890	▲2,746	▲21.7
合計	40,800	30,900	▲9,900	▲24.3

佐渡市将来ビジョン概要から

一般質問

本間 千佳子 議員

地域経済の活性化は

介護老人施設の拡充で



【質問】 11月9日、議員全員協議会に「佐渡市将来ビジョン」が提示された。概要の一つに「平成31年度までの佐渡市歳出・歳入改革」を策定し、地方交付税を145億円と見込み、10年後には一般会計予算規模を309億円としたものである。概要の二つには「佐渡市成長力強化戦略」を策定し、これらを車の両輪としているが、取組内容は、

して、島外の高齢者を迎え、利用者に佐渡の環境を提供する考えは。

【市長】 今のところ施設は不足しているが、次世代のことも考えて魅力ある施設に都会の利用者をお迎えしていきたい。

【福祉保健部長】 平成21年から3年間の計画で第4期の介護保険事業計画がスタートし、福祉施設などの計画が入っている。29人以下の地域密着型老人施設、認知症対応型のグループホーム、デイサービスセンターを計画しているし、介護保健サービスが可能な有料老人ホームの建設整備も計画しているのので着実に実行する。

【市長】 合併から5年が過ぎた。市民の皆さんから合併特例債の今後の見直しはどうなのかなど、問い合わせが多く、残り5年の道筋を成長力戦略なしでは佐渡の将来を語れないとして示した。今後は事業概要をまとめていく。

【質問】 全国的な高齢社会にあって、環境のよい佐渡に介護施設や老人施設を増設

して、島外の高齢者を迎え、利用者に佐渡の環境を提供する考えは。

【質問】 65歳以上の市民の方に介護サポーターになっていただく「得点付き、介護サポーター制度」が各地で広がっている。佐渡市として導入する考えは。

【福祉保健部長】 介護ボランティアを評価方式に変える手法の提案があるが、佐渡で可能かどうか検討する。



一般質問

浜田 正敏 議員

自然環境・生態系が危機に

防災無線は多面的に



【質問】 魚の管理の悪さと、市場が機能していないため魚価が低いと言われているが、どのように理解しているか。

【市長】 魚価を高める鮮度の管理は大事であり、漁協の一本化など受け皿の問題もあり、関係機関と協議をし、仕組みを作りたい。

【質問】 30年来隠れた穴場と言われた海府の溪流釣りが最近では小さな魚まで持ち帰られるようになり危機に瀕している。たとえば河川を2〜3か所交替で禁漁協力のメッセージを出せないか。

【市長】 どういうメッセージが出るか、何らかの仕組みを作る議論をしたい。

【産業観光部長】 禁漁協力について、地元関係者などと協議をしていきたい。

【質問】 絶滅種を含む山野草

が、盗掘とナラ枯れで危機に瀕している。せめて山野草の部分だけでも、ナラ枯れを守れないか。監視人は希望するところは集落単位に考えられないか。

【市長】 山野草については、

県が自然環境保護員を委嘱しているが、独自に市も公募していきたい。ナラ枯れについては調査をしたい。

【産業観光部長】 トレッキンググッアガイドなどで検討していきたい。

【質問】 防災無線は、なぜ屋外型なのか。錆による耐用年数や風上ではサイレンも聞こえない。まして放送は聞こえない。

地区別放送など集落の機能の維持のためなど、多面的に考えられないのか。



絶滅の恐れのある山野草

一般質問

公共施設の統廃合について

村川 四郎 議員



【質問】 公共施設の統廃合計画に骨太の方針はあるのか。温泉施設は、担当部別の方針は無意味で市民には温泉は温泉で、どこを担当かは関係ない。全て同じ土俵での統廃合を進めるべきだ。

【総務部長】 平成18年策定の佐渡市公共施設見直し指針に基づき各施設に存続・民間移譲・目的変更・廃止の4方向性を示し広く市民の声を聞いた。今後は各部署との協議で本年度中に統廃合の年次計画を具体的に詰める。

【社会福祉課長】 基本的には温泉施設は全て民間譲渡の方で進める。

【質問】 農業には3本柱が必要で米・果樹・畜産にどのような具体的戦略を議論したのか。

【副市長】 佐渡を売り込むに

は生物多様性をベースに農業を進める。トキ認証米もその一手段だが、特に和牛振興はその根底を支えるもので今まで佐渡の耕畜連携が進行しなかったのは飼料生産の問題もある。今後は飼料生産と和牛飼育とは別組織で分担して協力するところが重要で、佐渡では和牛を中心に農業に取り組むべきと考える。

【産業観光部長】 米はトキ認証米に全力投球し、量と面積の拡大に向けて市独自の所得補償制度も検討中。柿は15億円の実績があるが頭打ちで、今後は量と質の改善の戦略で生産振興に取り組む。

【質問】 現在「サドシマ」となっている標準地名を一日

も早く「サドガシマ」に変えるべき。9月に国土地理院から職員が訪問したのはそのためか。

【総務課長】 国土地理院から3人が来庁し「サドシマ」決定の時期と経緯について説明があり「現在地図、海図ではサドシマとなっているが、サドガシマに変更するなら、これの事務手続きを佐渡市が行えば変更会議にかける」と言う説明があった。



「サドシマ」は宮城県石巻市にある小島です。

一般質問

イベント助成への 間違った説明に猛省を促す

大桃 一浩 議員



【質問】 イベント、祭りへの助成について職員の間違った、不見識な説明があった。そのことにより来年のイベントが縮小し、必然、観光客の直接的減少につながる状況になっている。住民に直接関係する予算を削減する前に、職員の削減、知恵を出し、汗をかき、自らの血を流すべきだが。

【市長】 イベント助成への不見識な説明により住民の皆さんに今回大変迷惑をかけた。

た。まずは、自ら汗をかき、身を削ることは当然である。また、指摘の職員のボランティア参加だが、今後出やすい環境づくりと周知徹底に努めたい。

【質問】 島内の有効求人倍率0・44は、その数字が示すよりさらに深刻である。就職支援、就職ができず、進学に回っている子供たちへの財政支援を基金の活用も考え、全課あげた、職員体制で改善するべきだが。

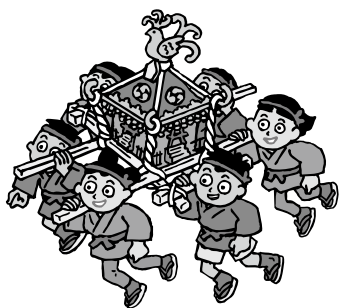
【市長】 島内の就職状況は深刻である。国、県の支援策を活用しながら、深刻な状況から子供たちを救うような方策を至急示したい。

【質問】 スポーツ団体の縦横の連携ができるような組織を形成し、市民のスポーツ振興とスポーツを生かした外客誘致、島づくりを真剣に考えるべきだが。

【市長】 スポーツを生かしての島づくりがうまく機能していない事実がある。しかし、佐渡の自然などを生かした大会の誘致、島内団体の連携、団体の設立を進めていく。

【質問】 佐渡には、歴史的重要な建造物も多く存在する。景観保存、世界遺産登録の観点からもそれらの建造物の保存、活用は急務である。民間企業からも支援がしやすい体制作りを急ぐべきだが。

【市長】 前回、指摘のあった、相川拘置所跡は、補正ですぐに修繕をしたい。加えて、その他にも多くある、歴史的建造物の保護、活用を指摘の点も含め進めていく。



一般質問

田中 文夫 議員

A級戦犯を出さぬよう
十年戦争を勝ち抜こう

【質問】 行革推進委員会ほどのような諮問についての答申か。

【総務部長】 行政改革大綱案についてである。答申は概ね3点。①将来にわたり公平な市民サービスを安定して提供できるよう計画的な財政運営に努めること②民間の給与実態を勘案した給与体系の転換をはかること③地域コミュニティ活動の支援による市民との協働体制の確立をはかること、である。これらを踏まえて、組織内の改革意識の共有化と強力なリーダーシップのもと職員が一丸となって改革に取り組むよう提言された。

【質問】 給与体系の転換を図れという指摘の意味は。

【総務部長】 従前の年齢給・職務職階給ではなく、人事考課制度を取り入れて能力

に応じた給与体系にせよとの指摘と受け止めている。

【質問】 行革推進のために強力なリーダーシップが求められているが。

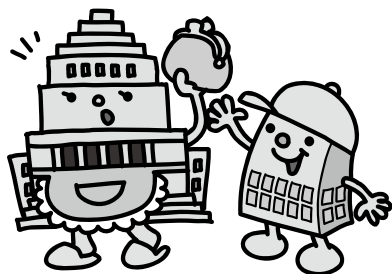
【市長】 行革を断行するため、行政改革課を副市長の指揮下におくことにした。

【質問】 議会と執行部との認識の決定的な差異は、類似団体との比較が是非かによる。なぜ佐渡市だけが比較に馴染まぬと考えるのか。

【市長】 今までの国の制度・類団の枠に閉じ込められては、離島・佐渡市は沈んでしまう。沈んでもよいのか、だったら海洋基本法や離島振興法はなんだったのか、と国に問い直しを求めている。

【質問】 類団と同じにせよと言われるれば、このビジョンのようにはいかなくなる。ということとはわれわれは潰れる

ということだ。潰れるならば、それに合わせて身を縮めるか、今までの実績を踏まえて離島・佐渡市には特別の配慮をせよと要求するか、単なる類似団体と同じと言うなら存在理由がないんだと国に匕首を突きつけたとご理解いただきたい。これは全国離島の総意である。



一般質問

金田 淳一 議員

10年後の佐渡市の姿を
類似団体に習え

【質問】 佐渡市将来ビジョンという10年後の姿が示されたが、新生クラブの8人は、「人口5万人台の自治体の行政運営について」を目的に長野県須坂市・富山県氷見市を調査してきた。両市ともに、人件費は42億円・職員数は500人程度であった。面積などの違いはあるが、ビジョンと比較すると12億円・200人の違いがある。削減目標は厳しく見積もらないと、なかなか目標達成は難しいがどう対応するのか。

【市長】 人件費の削減の取り組みについては、勧奨退職の推進・公共施設の統廃合・民間移譲の計画的な実施などで対応したい。

【質問】 交付税措置などが多くあれば、市の発展に投資すればいいのであって、甘い見積もりをするべきではない。小さな政府を作り上げるのが今後10年間の仕事と思うが。

【市長】 小さく産んで大きく育てるではないが、小さく見積めて、後で楽をするのが本当はいいだろう。今までの流れをみて、本当の数字はどこにもないわけで、人口だけの類似団体で比較するだけでなく、議論を続けていきたい。

【質問】 目標の金額に抑えるためには、一人当たりの給与を現状から階段を降りる決断が必要だが、計画作成時にその議論はなかったのか。

【総務部長】 当然、民間給与を念頭にしながらはいけないが、人員削減の枠組を考え、給与の削減までは踏み込んでいない。

【質問】 氷見市で驚いたのは、市民病院の民営化である。金沢医大に指定管理に出し、295人を引き受けている。給与の差額は全職員の5%分では5年間保証している。

る。皆で痛みを分かち合う形だが、参考にしてはどうか。

【市長】 その内容を初めて聞いた。資料をみて返事をしたい。

【質問】 南部中学校の統合検討委員会の結論はどうなったのか。

【学校教育課長】 3校統合は合意しなかったが、小木・羽茂中をまず統合し赤泊については協議を継続することで、了解を得た。

3自治体の比較

	佐渡市 21年現在	佐渡市 ビジョン	須坂市	氷見市
人口		54,529	52,895	52,763
面積	855.25	855.25	149.84	228.96
H21年一般会計予算(億円)	408	300	175.8	228.9
うち市税(億円)	54.9	50	59	54.9
うち地方交付税(億円)	201	145.5	43.3	69.9
うち人件費(億円)	83.9	54	42	42.6
標準財政規模(億円)	275.8		113.1	127.3
財政力指数	0.29		0.54	0.42
普通会計職員数	1208	692	457	483
総職員数(病院含む)	1524		512	533

※人件費をいかにして近付けるかが課題です。